

(社会科) 学習指導 (活動) 案

【実践者】

【関連する SDG s】(10、11、16、17)

氏名 土田 賢

学校名 八雲町立落部中学校

学年 (人数) 1 学年 9 名

実施教科 (領域) 社会科 (地理)



【実施概要】

1. 単元名 (活動名) :	世界の人々の生活と環境 / 様々な言語と人々の暮らし (言葉に秘められた民族のメッセージ)
2. 単元の目標 (評価規準を意識して設定)	
【知識及び技能】	
・	人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。
・	世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人々の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。
【思考力、判断力、表現力等】	
	世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。
【学びに向かう力、人間性等】	
	世界各地の人々の生活と環境について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとしている。

3. 単元計画 (全 9 時間 本時 9 / 9)			
時	ねらい	学習活動	資料など
1	<ul style="list-style-type: none"> ・気候と降水量のグラフを活用し、世界の気候帯の分布を捉える。 ・大陸別の気候帯の分布について関心をもち、それぞれの気候帯の特徴を比較し、表現することができる。 	世界の気候帯について、その名前を理解し、分布の特色を地図帳などを活用して読み取る技能を養う。	気候分布図 大陸間の気候の変化を示す写真
2	<ul style="list-style-type: none"> ・熱帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ・熱帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから熱帯気候の特色を捉えることができる。 	熱帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を養う。住居や衣服・暮らしの特色から関連づけを行う。	気候帯別の降水量を示すグラフ 熱帯の衣食住に関わる写真
3	<ul style="list-style-type: none"> ・乾燥帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ・乾燥帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから乾燥帯気候の特色を捉えることができる。 	乾燥帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を養う。住居や衣服・暮らしの特色から関連づけを行う。	気候帯別の降水量を示すグラフ 乾燥帯の衣食住に関わる写真
4	<ul style="list-style-type: none"> ・温帯の地域の自然環境の特性と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ・温帯の気候分布図からその広 	温帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を養う。住居や衣服・暮らしの特色から関連づけを行う。	気候帯別の降水量を示すグラフ 温帯の衣食住に関わる写真

5	<p>がりの特色を読み取り、気温と降水量のグラフから温帯気候の特色を捉えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷帯・寒帯の地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。 ・冷帯・寒帯の気候分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから冷帯・寒帯気候の特色を捉えることができる。 	<p>冷帯・寒帯の地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を養う。住居や衣服・暮らしの特色から関連づけを行う。</p>	<p>気候帯別の降水量を示すグラフ 冷帯・寒帯の衣食住に関わる写真</p>
6	<p>・標高の高い地域の自然環境の特色と、そこに暮らす人々の生活とその変化を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高山気候の分布図からその広がりの特徴を読み取り、気温と降水量のグラフから高山気候の特色を捉えることができる。 	<p>標高の高い地域の気温と降水量のグラフ、分布の特色を適切に読み取る技能を養う。住居や衣服・暮らしの特色から関連づけを行う。</p>	<p>気候帯別の降水量を示すグラフ 高山に住む人々の衣食住に関わる写真</p>
7	<p>・世界の主な宗教の特色とその分布を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な宗教の存在をお互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。 	<p>世界の主な宗教の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身につけ、世界の主な宗教の特色と人々の生活との関連を理解している。</p>	<p>地図帳 宗教分布図 国際紛争に関わる新聞記事・資料</p>
8	<p>・世界には様々な民族が暮らししており、それを元に多様な言語や文化が形成されていることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な文化の存在をお互いに認めて、共存していこうとする態度を養う。 	<p>世界で使われている言語の分布について、地図帳などを活用し、適切に読み取る技能を身につけ、世界には様々な民族が生活し、多様な言語が使われていることを理解する。</p>	<p>言語分布図 地図帳</p>
9 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・アイヌ語を通じて文化の多様性について考える。 ・文化理解を通じて共助の関係が成り立つこと、その文化・民族理解が大切であることを知る。 ・言語理解が文化理解につながることを理解する 	<p>簡単なアイヌ語を使用し、そこからアイヌの言語の意味を考えさせる。そこから二風谷ダムの様子について紹介し、文化理解の事例を交えながら民族理解の大切さについて考える。</p>	<p>ワークシート 二風谷ダムに関わる写真・映像 貝澤氏講話の映像 文化理解の事例をわかりやすく示すもの</p>

4. 本時の展開（9／9）

本時のねらい：

- ・並べ替えゲームを通してアイヌ語で名付けられた河川の様子を見て、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件を考え、その条件を説明できる。（社会的な思考・判断・表現）
- ・二風谷ダム、そして塩狩峠越えの交通路建設の例から、言葉を理解することの意味を考えることができる。（主体的に学習に取り組む態度）

過程・時間	教師の働きかけ・発問および学習活動	指導上の留意点・支援・評価	資料（教材）
導入（7分）	<p>1. 興味・関心を広げる</p> <p>① アイヌ語ジェスチャーゲームを行う</p>	<p>前時からの引き続きの内容。慣れた展開での導入を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スライド

<p>展開① (20分)</p>	<p>「inu inu?(聞いて聞いて)」 「Hemanta ya? (何だろう?)」</p> <p>スライドを見て何を指し示すかを当てさせる</p> <p>2. 具体例からアイヌ語の地名を考える</p> <p>「今使っていた言葉、何語でしょうか？」 〈生徒の反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> アイヌ語 <p>「そうですね。アイヌ語ですね」</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「アイヌ語が使われている地名って、知っていますか？」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 近くを流れる落部川を例に出す。落部川の写真を見てどのような特徴があるかを考え、その特徴とアイヌ語との関わりを知らせる <p>「アイヌの人たちは、自然の様子から、その特徴を知り、名前をつけているのですね」 「Hemanta ya? (何だろう?)」</p> <p>3. アイヌ語由来の地名の特徴をとらえる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「他の川の由来も考えてみましょう」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> カードを用意し、並べ替えをさせる 遊楽部川 サロベツ川 美瑛川 黒板にその並べ替えの結果を貼り出させ、答えを確認する <p>4. 沙流川と二風谷ダムに関わりを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ダムの役割について説明する 二風谷ダムの上空からとダム上部からの写真を見せる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「これは、北海道の川にあるダムです。写真を見てダムはどのような様子になっていますか」</p> </div>	<p>答えは 白 (レタラ) 緑 (シウニン) 赤 (フレ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 近くを流れる落部川の地名の由来から、アイヌ語の地名にそれぞれその名前の由来があることを認識させる その特徴とアイヌ語との関わりを考えさせる <ul style="list-style-type: none"> アイヌ語由来の川の名前に自然由来のものがあることを理解する アイヌ語の川は自然の特徴や地名をつけた当時の人々の生活が関係していることに気づく 	<ul style="list-style-type: none"> スライド (川の様子を示す写真。落部川の例示、カードの答えの確認に使う) <p>カード (川の名前・川の由来・川の写真の3枚1組×3)</p>
----------------------	--	---	---

<p>展開② (17分)</p>	<p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水が勢いよく流れている ・ 上に丘のようなものができている ・ 水が濁っている <p>・ 写真が二風谷ダムであり、沙流川を流れることを示す</p> <p>・ 沙流川の変化について写真で示す</p> <p>・ 沙流川は 古くは「シシリムカ (sisirimuka)」 と言われていたことを示す</p> <p>「sisirimuka とは、どういう意味だと思いますか」</p> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 砂が多く流れる川 ・ 砂が溜まりやすい川 ・ 濁った川 <p>・ Sisirimuka とは「砂が多く流れる川」の意味であることを確認させる</p> <p>・ 二風谷アイヌ資料館での貝澤さんの話をまとめたものを示す</p> <p><貝澤さんの話の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ この川の昔の名前はシシリムカといい、砂が流れる川という意味 ・ 学者はここにダムを作る理由はなかったと言っていた ・ ダムを作らなくても十分この場所は守れる ・ ダムはモーターボートが進めないほど浅くなっている ・ 昔はこの川で魚を取ったり、川で遊んだりできた。今はできない ・ 昔を思い出すことができる場所は無くなった ・ 儀式を行っていた場所が水に沈んでしまった <p>・ チプサンケの様子を写真で示す</p> <p>5. シシリムカとアイヌの人たちの思いを繋ぐ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>二風谷の人たちは、このダムができたことをどう思っていたのでしょうか</p> </div> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 必要なかった ・ 昔の様子がなくなった ・ 大切にしていたものがなくされてしまった 	<p>沙流川と二風谷ダムの関係を言葉の意味から考えさせる</p> <p>言葉には文化を考える上で重要な教えやヒントが隠されていることを気づかせる</p>	<p>スライド</p> <p>スライド (貝澤さんの話のまとめ)</p>
----------------------	---	--	--

<p>まとめ (8分)</p>	<p>ダムを作る上で、今のような状況になると いうヒントはありませんでしたか？</p> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 博士の言葉 川の名前 アイヌの人たちの話 言葉に自然現象へのヒントが隠されている ことを気づかせる <p>6. 夏の道と冬の道から峠の道を作る</p> <ul style="list-style-type: none"> 塩狩峠越えの鉄道・国道の例を写真とともに 示す。 <p>国道40号線と宗谷本線が走る場所の地図 を一部拡大しました。気づくところはある ますか</p> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 川の名前が面白い 川と道が沿って走っている 線路と道が沿って走っている 川の名前に注目させる 川の名前の解説を単語に注目させ考えさせ る 「サク」が夏、「マタ」が冬の意味であるこ とを強調し、それぞれ夏の道と冬の道であ ることを確認させる <p>夏の道と冬の道、どうして分けたのでしょ うか</p> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> 冬は雪で埋まってしまうから 夏は川の水が増えるから 冬滑りやすいから 住んでいるところが変化するから 夏の道が実際には遠回りであり、冬の道 が短距離だが夏に通りにくかったことを説 明する <p>「名前からその理由を考え、道作りに生かし た例ですね」</p> <p>7. 振り返り 今日の内容を簡単に振り返る</p>	<p>二風谷の人たちの思 いを言葉から読み取 る</p> <p>アイヌの人々の地名 に残した地勢の意味 を汲み取り、工事を 行なった成功例とし て示す</p> <p>・夏の道と冬の道の 2本あることに気づ かせる</p>	<p>スライド (塩狩峠の様子・ア イヌ語の解説)</p>
---------------------	--	--	---------------------------------------

	<p>8. 言葉の理解の重要性を考える</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>「言葉を知るとは（ ）」これに当てはまる言葉を考えてみましょう</p> </div> <p>Google クラスルームを用いてまとめを記入させる</p> <p><生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その場所のことを知ることができる ・ 様子を知ることができる ・ アイヌの人たちを知ることができる <p>時間に応じて意見を発表させる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでの例から言葉を理解することの重要性を考える 	<p>スライド (まとめに繋げる)</p>
<p>5. 評価規準に基づく本時の評価 (評価方法)</p> <p>【社会的思考・判断・表現】 並べ替えゲームを通してアイヌ語で名付けられた河川の様子を見て、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件を考え、表現できた。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 二風谷ダム、そして塩狩峠越えの交通路建設の例から、言葉を理解することの意味を考えることができた。(ワークシート)</p>			
<p>6. 資料および外部との連携</p> <p>参考資料</p> <p>温泉の歴史ジャパン https://www.onsen-history.com/49/</p> <p>北海道キャンプ地見聞録 http://hokkaicamp.com/canoe/river/2021/1024/index.html</p> <p>美瑛町観光協会 https://www.biei-hokkaido.jp/ja/blog/bluepond-shirahigenotaki20220629/</p> <p>サロベツ湿原センター http://sarobetsu.or.jp/swc/gallery/summer/195/</p> <p>国土交通省ホームページ</p> <p>https://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kasen/jiten/nihon_kawa/0104_sarukawa/0104_sarukawa_02.html</p> <p>株式会社エコノクス http://www.econixe.co.jp/contents/detail.php?id=332</p> <p>Wikipedia https://ja.wikipedia.org/wiki/貝澤耕一</p> <p>貝澤耕一氏講演 2022.8.6 平取町立二風谷アイヌ文化博物館にて</p> <p>沙流川歴史館だより 第16号</p> <p>ジャパンアーカイブス https://jaa2100.org/entry/detail/040127.html</p> <p>北海道マガジン KAI 特集 上川町と下川町 小さな町の つながる力</p> <p>塩狩峠～2つの大河を分ける物語～ http://kai-hokkaido.com/feature_vol35_sidestory1/</p>			

【自己評価】

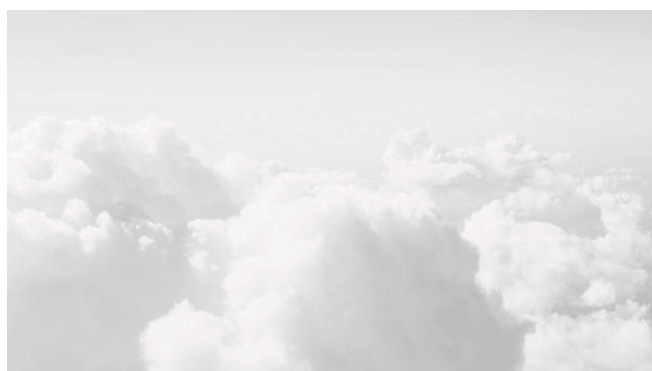
<p>苦労した点</p>	<p>二風谷での研修を生かす目的が強過ぎたために言葉を知ることに対して批判的な意見を強める方向性しか授業で出せず、アイヌ語の地名からその後の開発や生活に良い影響を導き出したという視点がなかった。その対照的な視点で授業を作り上げるといった観点がなかったために、最後まで授業がまとまりのあるものにならず、直前まで他の事例の精査や授業内容の配置など構成に苦慮した。</p>
--------------	---

改善点	導入が漠然としていることである。これについては研修内での模擬授業でさまざまな先生から意見として出された。いつの間にか授業の本題に入ってしまう構成のため、生徒は目的が掴めないまま進んでしまった。次時振り返りを行い確認できたが、導入の再考察が必要と感じた。
成果が出た点	アイヌ語地名は自分たちにとって当たり前のものであるが、その中身を突き詰めるとさまざまな見方、自然の様子などを見てとることができることを生徒たちが気づいたことである。この授業を終え、生徒たちはなぜその名前になったのか、なぜその漢字を使うのか、などに興味を持ち始め、歴史の授業の中でも「元寇の『寇』の字はどういう意味ですか」や、町内のフィールドワークで地名の由来や建物の名前の由来などに質問が多かった。
学びの軌跡 (児童生徒の反応・感想文・作文・ノート等)	<p>まとめて記述させた「言葉を知ること()」に当てはまる言葉について、下のような反応があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・場所の様子を知ること ・生活の仕方を知ること ・アイヌの人々の生活を知ること ・特別な理由がわかる ・自然の様子
授業者による自由記述	アイヌの人々は自然と深く結びついて生活していた。そのことはこの地名を見るだけでも異なる。また、今回のフィールドワーク参加を通して、そのことを痛切に感じた。そのことを、アイヌの文化と和人の文化の接点にもあたるこの八雲・落部の生徒たちに伝えられれば、と組んだ授業であった。過去にこの学校の実践で地域のアイヌの有力者であった弁開胤次郎の話を絵本にしたものが学校に残されている。事実、生徒がその本を手取ることはあまりない状況であったが、この授業の後、1年生でそこに集まり話をする様子が見られるようになった。この授業の帰着点は言語理解の重要性であったが、自分の願ったことがこのような形で生かされたことは良い影響であったと思う。また、アイヌ語ジェスチャーゲームについては、複数時間にわたって行ったが、生徒は積極的に取り組み、評価も高かった。今回は導入として用いているが、アイヌ文化に触れる上で非常に有用であると感じた。
学校内外でSDGs学習・授業実践を広める取り組み	フィールドワークとともに行うことができると思う。落部川の意味については河口部の鮭の集まる場所に仕掛けの跡などが残されているし、この授業で取り上げた遊楽部川についても、この川の意味をよく理解できるような温泉地は多くある。年代・学年を問わず、このような形で認識を広め、その言葉の意味から持続可能性を考える授業が可能であると思う。

言葉と暮らし

Hemanta ya? 意味を当てましょう。

第 1 問





HURE
フレ
赤

Hemanta ya? 意味を当てましょう。
第3問





仲間を集めよう

川→川の写真→川の名前の由来
で1グループです。

グループを作ってみよう。



YU-RAP

遊楽部川

ゆうらっぶ川



遊楽部 → ユーラッ = 温泉の流れる川



温泉の流れる川

遊楽部川

PIVE

美瑛川

びえい川





美瑛 → ピイェ = 乳白色の川

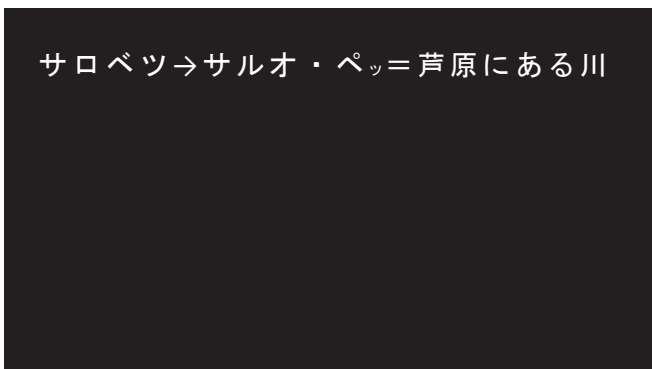


乳白色の川

美瑛川



PIYE
サロベツ川
さろべつ川

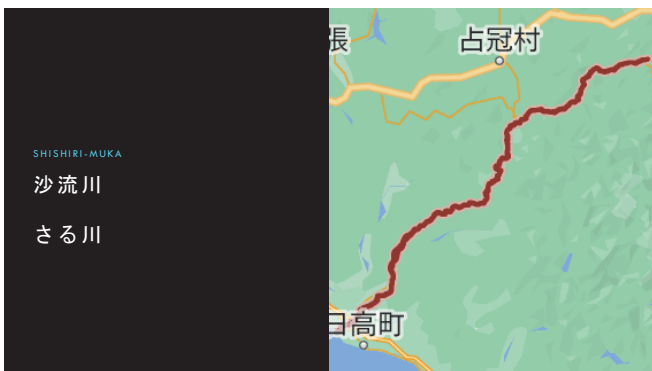
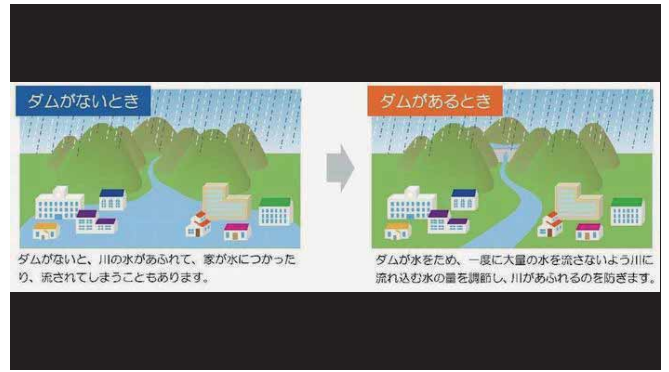
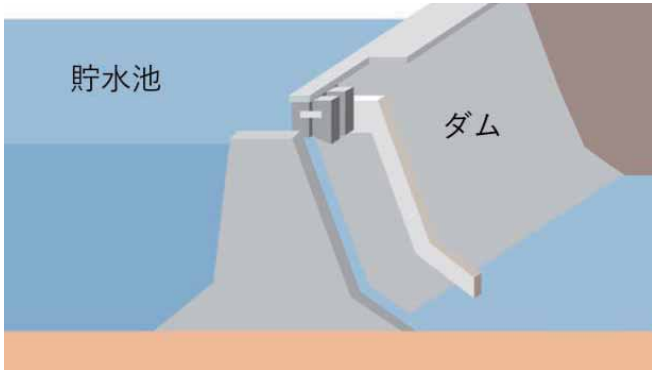


サロベツ → サルオ・ペッ = 芦原にある川



芦原にある川

サロベツ川





沙流→シシリムカ＝砂の多い川



貝澤耕一氏

- ・ NPO法人テコロナイ代表
- ・ 父のシケレベ農場を引き継ぎながらも、アイヌ民族の権利を取り戻すための活動、アイヌの原点を見つけるための活動を続ける。



貝澤さんのお話

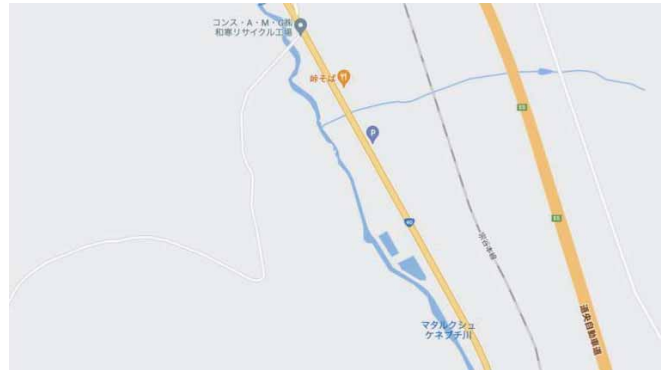
- ・ 川の名前は「シシリムカ」
→砂の流れる川
- ・ 学者はここにダムを作る意味はないと言っていた
- ・ ダムはモーターボートが進めないほど砂がたまっている



貝澤さんのお話

- ・ 昔は川で魚を撮ったり遊んだりできたが、今はできない
- ・ 昔を思い出せる場所は今はない
- ・ 儀式を行っていた場所をダムの貯水地に沈められてしまった





マタ：冬 サク：夏
 ルーク：道
 シュ：とおる
 ケネブチ：今の剣淵のこと、もしくは剣淵の人々

サクルークシュケネブチ
 →夏に剣淵(の人が)とおる道

マタルークシュケネブチ
 →冬に剣淵(の人が)とおる道



“言葉を知ることは（ ）”

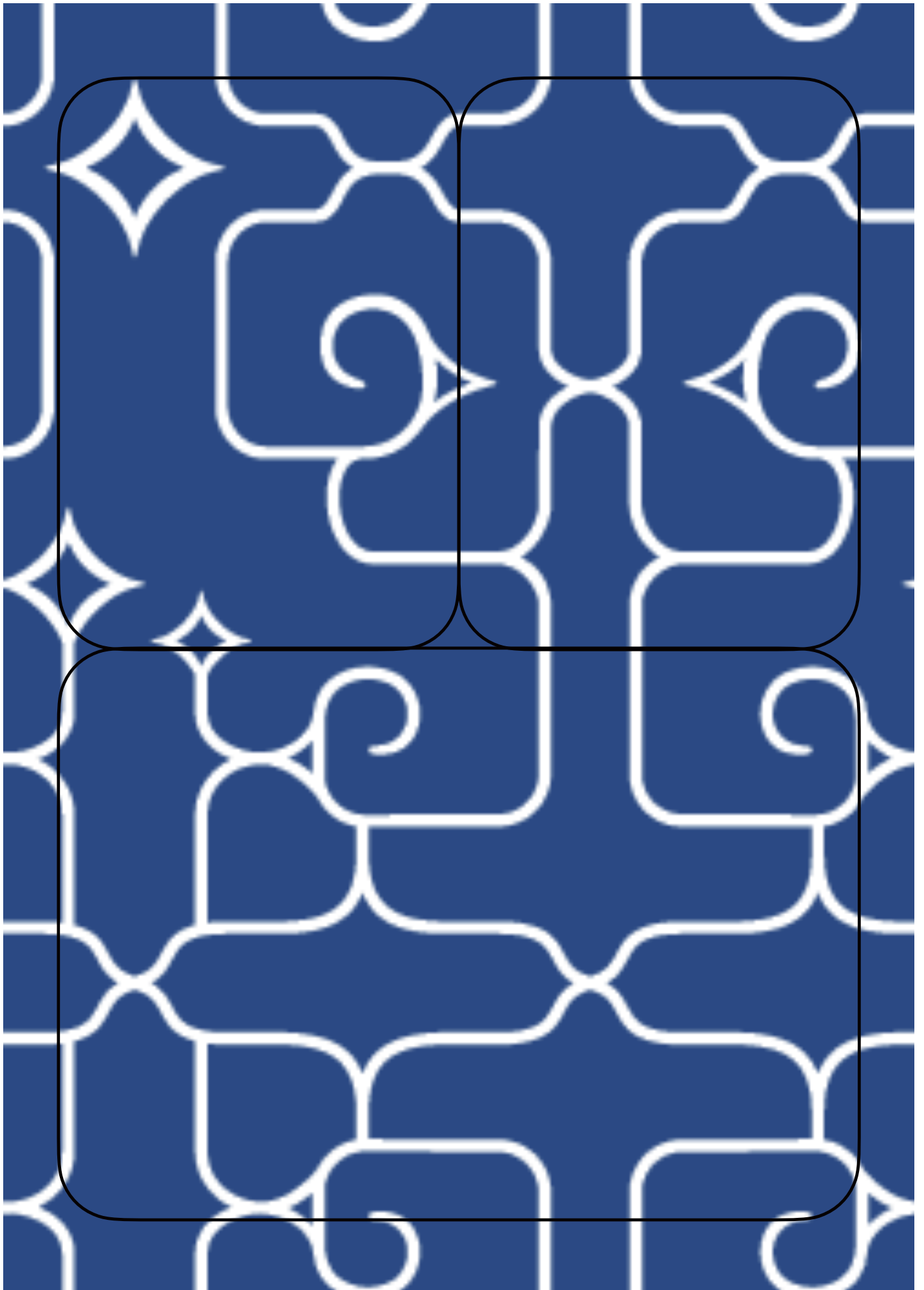
残りもまとめよう

- ・ 北海道の川は何が由来になって名前がつけられたものが多いですか
- ・ 川の名前の多くは、何を示しているでしょうか
- ・ 沙流川(Sisirimuka)は何が名前の由来でしたか？
- ・ アイヌ語の「サク」「マタ」は何を示していましたか

芦原にある川

サロベツ川

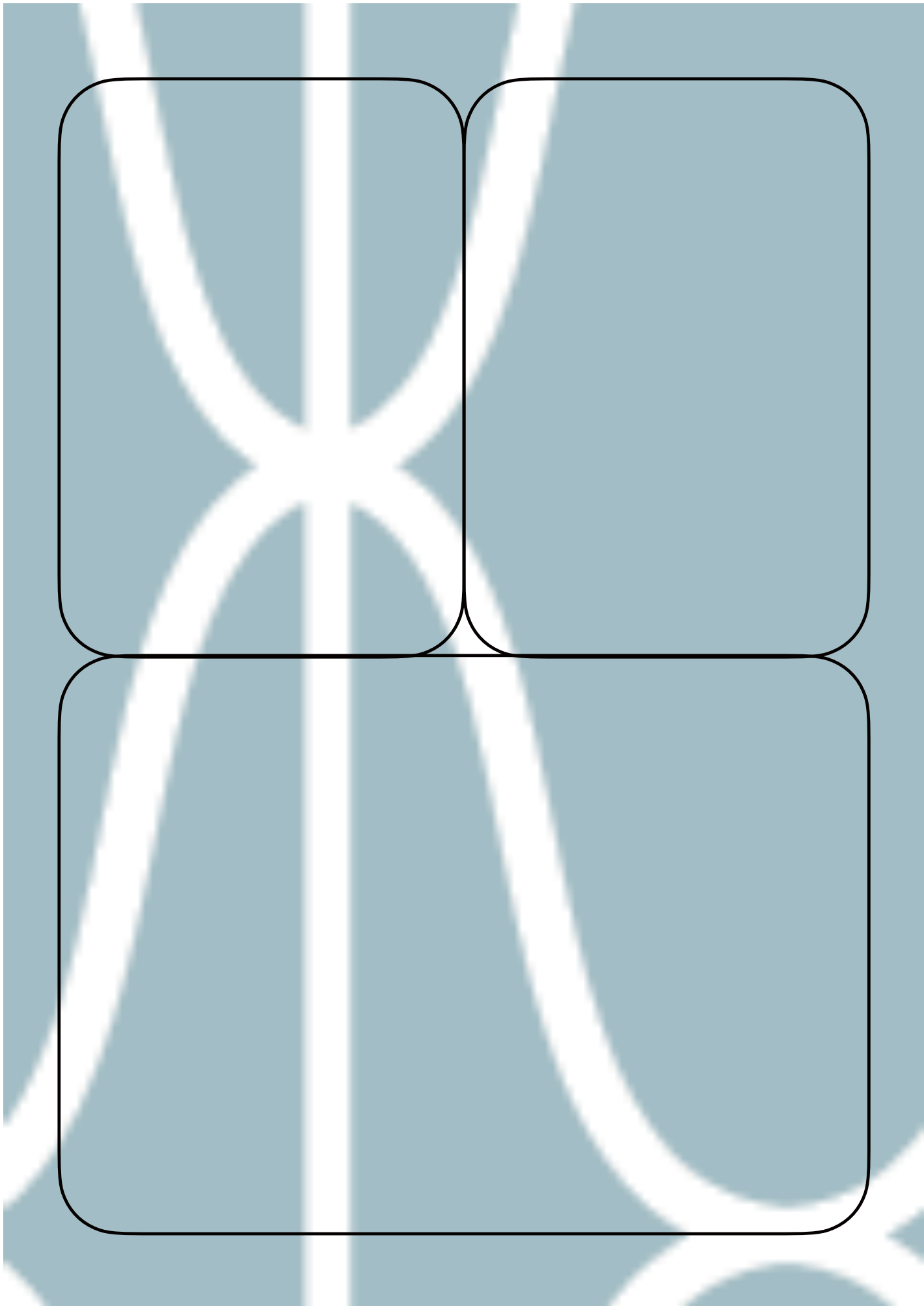




温泉の流れる川

遊樂部川





乳白色の川

美瑛川



